

イネ科 ジュズダマ属

# ジュズダマ (数珠玉)

*Coix lacryma-jobi* L.

## 自生環境

水辺、荒れ地 など

## 原産地

熱帯アジア

## 予想される被害



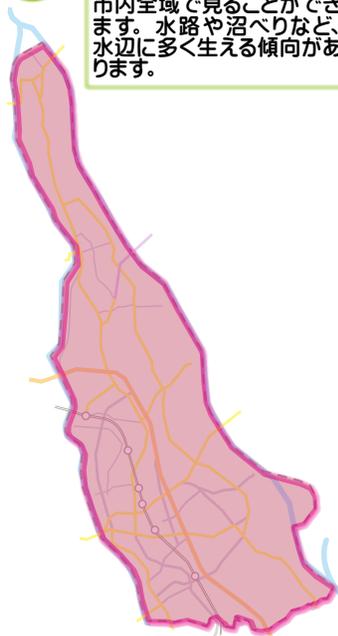
古い時代に定着した外来種で、水辺の生態系の一員として落ち着いています。生態系に悪さをする可能性は低いのですが、風媒花なのでイネ科花粉症の方は要注意です。

## 特徴

- ☆ 古い時代に熱帯地方より渡来したと考えられる多年草です。普通の草地にも生えますが、水辺を好む傾向があります。市内でも池の縁や水路際などによく生えています。
- ☆ 花のない時期は、やせたトウモロコシのような姿をしています。草丈は1~2mくらいになり、夏から秋にかけて、茎の先に花の穂をつけます。1つの穂に雄花と雌花があり、雌花の先に雄花の穂がつきます。雌花は苞鞘と呼ばれる壺のようなものに包まれ、そこから2本の柱頭が出します。
- ☆ 果実期になると苞鞘は石のようにかたくなり、表面に光沢が出てきます。これは長持ちするため、数珠やネックレス、お手玉の中身などに使われます。果実はしずく形なので、英語では、これを旧約聖書のヨブ(Job)の涙に見立て、Jpb's tears と言います。

## 市内の分布状況

市内全域で見ることが出来ます。水路や沼べりなど、水辺に多く生える傾向があります。



## ハトムギも同じ仲間

健康茶の原料としてもおなじみのハトムギは、ジュズダマの変種です。野田市ではほとんど作られていませんが、近隣では栃木県小山市が有名な産地となっています。ハトムギはタネを包む苞鞘がジュズダマに比べると、指で比較的簡単に割ることができます。原産地の東南アジアでは、雑穀として食用にするほか、苞鞘の中身はヨクイニンと呼ばれ、薬に利用されています。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

